

令和7年度

札幌市文化財保護審議会
(第1回)

令和7年7月30日(水)

市民文化局文化部

I 経常事業（文化財係関係）

1 令和6年度事業報告

(1) 市内文化財の指定等

令和6年度の市内指定・登録文化財の状況については別添資料のとおり（別添資料1-1、1-2）。令和7年3月13日、さっぽろテレビ塔が国登録有形文化財に登録となった。

また、未指定・未登録文化財の保存・活用の機運醸成を目的に、令和5年度から「札幌市地域文化財認定制度」を運用開始し、6年度には1件認定した（別添資料1-3）。

(2) 札幌市所有文化財の保存・活用

札幌市が所有する指定・登録等文化財のうち建造物や史跡については、文化財本来の価値を損なわないよう適切な維持管理を行うとともに、市民等のニーズを踏まえた幅広い活用のあり方を検討の上、修繕や復元、耐震化等の保存・活用工事を実施し、観覧施設等として公開等を行っている。また、指定文化財である歴史資料等は、複製を活用するなどして適切な保存と公開に努めている。

文化部では、15件の指定文化財（国指定：5件、道指定：2件、市指定8件）を所管するほか（別添資料1-4）、市有施設等において地域の団体等が資料の保存・展示を行う郷土資料館への支援を行っている（別添資料1-5）。

指定管理者制度を導入している時計台、豊平館、旧札幌控訴院庁舎（札幌市資料館）、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮のうち、豊平館は指定管理期間満了に伴い、令和7～11年度における指定管理者の選定を行った（前指定管理者が継続）。

(3) 無形文化財保存伝承事業

市指定無形文化財丘珠獅子舞及びアイヌ民族の伝統行事であるアシリチエプノミの保存伝承事業に対する補助事業を例年実施している。令和6年度は、丘珠獅子舞が9月16日に、アシリチエプノミの保存伝承事業についても9月16日に実施された。



丘珠獅子舞奉納演舞

札幌市指定無形文化財に指定されており、丘珠獅子舞保存会によって保存・伝承がなされている。

アシリチエプノミ

例年、新しい鮭を迎える儀式として豊平川河川敷で行われ、アイヌ古式舞踊等が披露される。



(4) 文化財の普及啓発

市民等に対し、文化財の価値と魅力を発信するため、各種情報媒体の整備、文化財課ホームページでの情報発信、職員による文化財の普及啓発講座等を実施した。

例年実施している文化財保護指導員による文化財普及講座は、令和6年度は4件の実績であった。

2 令和7年度実施予定事業

(1) 「札幌市地域文化財認定制度」推薦の募集（継続）

(2) 札幌市所有文化財の保存・活用（継続）

(3) 無形文化財保存伝承事業（継続）

丘珠獅子舞及びアシリチエプノミ保存伝承活動への支援を継続。

(4) 文化財の普及・啓発（継続）

文化財保護指導員による文化財普及講座の継続。

冊子「札幌の文化財」、「文化財めぐりマップ」及び「札幌の郷土資料館」配布継続。

II 経常事業（埋蔵文化財係関係）

1 令和6年度事業報告

(1) 埋蔵文化財保護事業

埋蔵文化財の保護と開発事業との調整を図るため、周知の埋蔵文化財包蔵地に係る照会に対応し、事前協議に基づいて、所在・試掘調査を行い、埋蔵文化財の保護措置について通知している。

なお、令和6年度は、埋蔵文化財の記録保存として、K557 遺跡の発掘調査及びK498 遺跡の整理作業を実施した。

- 埋蔵文化財協議

表1 令和6年度 埋蔵文化財協議件数

事業区分	照会件数	協議書件数	取扱い指示件数				文化財保護法に基づく届出・通知	所在調査実施件数	試掘調査実施件数	工事立会実施件数	発掘調査実施件数
			発掘調査	工事立会	慎重工事	その他					
民間	629 (+13)	45 (+4)	3 (+3)	9 (-1)	23 (-3)	6 (+2)	34 (-1)	1 (+1)	14 (+3)	7 (-6)	1 (+1)
公共	303 (+20)	26 (-6)	1 (+1)	14 (-9)	2 (-3)	16 (+3)	10 (-3)	5 (+2)	7 (+1)	16 (-5)	1 (0)
総計	932 (+33)	71 (-2)	4 (+4)	23 (-10)	25 (-6)	22 (+5)	44 (-4)	6 (+3)	21 (+4)	23 (-11)	2 (+1)

※ () 内は前年度比増減値（令和6年度件数－令和5年度件数）

- 発掘調査事業

表2 令和6年度 発掘調査事業

遺跡名	業務内容	委託者	事業内容	所在地	遺跡の時期	遺跡の概要	面積(m ²)
K557	発掘調査	札幌市	道路新設	北)西茨戸	縄文文化	黒曜石剥片集中、土器、石器など	700
K498	整理	札幌市	道路新設	北)屯田町	縄文文化	竪穴住居跡、土器、石器など	5,200

(2) 普及啓発事業

- 埋蔵文化財展示室企画展

- 令和5～6年度企画展「札幌の大昔の暮らしと食べ物～動物を狩る～」（令和5年11月10日～令和6年4月13日）
- 令和6年度市内発掘速報展「K498 遺跡・N434 遺跡」（令和6年5月10日～8月30日）
- 道指定文化財特別展「K446 遺跡の擦文文化」（令和6年9月6日～11月14日）
- 令和6～7年度企画展「札幌の大昔の暮らしと食べ物 植物を探る～」（令和6年11月22日～令和7年4月13日）

表3 令和6年度 普及啓発事業 (()内は令和5年度数)

	展示室入場者	団体見学	出前講座	資料貸出	資料調査
件数	—	6(12)	6(4)	8(12)	2(3)
人数	38,673(40,657)	70(290)	454(345)	—	—

(3) 丘珠縄文遺跡運営管理事業

- ・ 発掘調査、縄文体験学習、遺跡公開イベント、ボランティア活動等を実施
- ・ 令和6年10月19日(土)開催 おかだま縄文公開講座「自然科学で探る縄文文化の食べ物」講師:北海道大学大学院文学研究院准教授 國木田 大氏

表4 令和6年度 丘珠縄文遺跡利用者数 (()内は令和5年度数)

	来場者	団体利用	縄文土器 づくり	縄文 玉づくり	遺跡 公開デー	公開講座
件数	—	8(15)	2日(2日)	2日(2日)	2日(2日)	1(—)
人数	49,781(50,776)	271(609)	141(79)	199(129)	1,284(1,552)	30(—)

2 令和7年度実施予定事業

(1) 埋蔵文化財保護事業

令和7年度は、埋蔵文化財の記録保存として、C449 遺跡と N434 遺跡の発掘調査、及び K557 遺跡の整理作業と K498 遺跡の報告書作成を実施する。

- ・ 発掘調査事業

表5 令和7年度 発掘調査事業

遺跡名	業務内容	委託者	事業内容	所在地	遺跡の 時期	遺跡の概要	面積 (m ²)
C449	発掘調査、 整理・報告 書作成	民間会 社	建物建設	中)北6西15	縄縄文文化	炉跡、土坑、土器、 石器など	240
N434	発掘調査	札幌市	建物解体	西)八軒9東 5	縄文文化、 擦文文化	竪穴住居跡、土器、 石器など	1,340
K557	整理	札幌市	道路新設	北)西茨戸	縄文文化	黒曜石剥片集中、土 器、石器など	700
K498	報告書作 成	札幌市	道路新設	北)屯田町	縄文文化	竪穴住居跡、土器、 石器など	5,200

(2) 普及啓発事業

- ・ 埋蔵文化財展示室速報展・特別展・企画展、団体見学、校外学習、出前講座、小学生向けの出前教室「学校D E カルチャー」、カルチャーナイト等の実施
- ・ 発掘調査報告書デジタルデータのウェブサイト(「全国遺跡報告総覧」)での公開(過年度分は完了、今後も継続的に公開)

(3) 丘珠縄文遺跡運営管理事業

- ・ 体験学習、発掘調査(北海道大学連携・考古学実習)、遺跡公開イベント、ボランティア養成活動、ひがしく魅力発信プロジェクトとの連携事業、さとらんど(30周年)との連携事業等の実施

III 政策事業

1 歴史文化のまちづくり推進事業

札幌市と市民・有識者等が連携し、札幌市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の調査や活用等の取組を推進するもの。

令和2年3月に設立した、札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会（構成団体は、札幌市、一般社団法人札幌観光協会、札幌商工会議所。以下「協議会」という。）による市民ワークショップ等各種事業の推進のほか、市内文化財のデータベース化、郷土資料館の支援手法検討を行う。

また、札幌市文化財保存活用地域計画の計画期間が令和6年度末までのため、次期計画案を作成した。

(1) 協議会による事業

令和2年度以降、札幌の文化財・歴史文化の価値と魅力を伝える新たなコンテンツである関連文化財群とストーリー（以下「関連文化財群等」という。）設定に向けた市民ワークショップを開催し、関連文化財群等を設定している。また、文化財や歴史文化を観光資源等として活用する取組を促すため、ボランティアガイド講習会、モニターツアー、文化財の普及・啓発のためのシンポジウムを開催したほか、設定した関連文化財群等を題材とした市内文化財の周遊促進のためのパンフレットを作成してきた。

令和6年度は、市民ワークショップ、ボランティアガイド講習会、シンポジウム、周遊促進パンフレット作成を実施した（別添資料2）。

また、札幌市が建物又は土地を所有している郷土資料館（計13施設）においては、入館者数の低迷や、展示内容の陳腐化、管理運営にかかる保存団体等の高齢化による担い手不足等、様々な課題を抱えており、その支援策の一つとして、令和6年度は、小学校高学年を対象に、市内郷土資料館の普及啓発を目的としたパンフレットを作成した。



令和7年度は文化庁補助金を財源として、市民ワークショップ、ボランティアガイド、シンポジウム、新たに設定する関連文化財群等を題材とした市内文化財の周遊促進のためのパンフレットを作成する予定。また、ふるさと納税の寄附金を活用した事業の実施も予定している（別添資料3）。

(2) 文化財データベースの構築

市内の指定・登録文化財、さっぽろ・ふるさと文化百選選定物件、札幌市の既往調査で把握した歴史的建造物（指定・登録文化財を除く）、札幌市地域文化財、一部を除く郷

土資料館収蔵資料の情報を集約したデータベースを構築し、令和3年3月よりインターネットで公開。併せて、データベースに登録された情報のスマートフォン向けアプリ「にっぽん風景なび」への掲載を令和3年6月から開始した。

データベースの情報は随時追加等掲載内容の更新を行っている。

(3) 札幌市文化財保存活用地域計画

令和2年度から令和6年度までを計画期間としていた第1期札幌市文化財保存活用地域計画において実施された、文化財の保存・活用に関する各事業の取り組み状況を取りまとめた（別添資料4）。また、令和7年度からの第2期札幌市文化財保存活用地域計画（以下「次期計画」という。）の計画案を令和6年度に作成し、令和7年7月18日、文化庁から認定を受けた。

今後、次期計画の印刷発注を行い、関係各所へ配架予定。

2 文化財施設等保全事業

文化財施設の適切な保存のため、事後修繕ではなく、予防的修繕を計画的に実施することを目的とし、平成29年度に事業化したもの。令和2年度からは施設の耐震化も事業として位置付けたほか、令和3年度からは対象を文化財課所管の郷土資料館まで広げている（別添資料5）。

耐震化事業は、令和5年度に清華亭の耐震改修工事を実施したほか、旧黒岩家住宅について令和4年度に耐震診断、令和5年度に耐震・保存修理の基本検討、令和6年度に耐震・保存修理の実施設計を実施し、今年度以降に耐震・保存修理工事を計画している。また、琴似屯田兵村兵屋跡について、今年度に耐震診断の実施を計画している。

その他本市所有の市指定有形文化財施設については、平成18年度に実施した耐震予備診断の結果、耐震性の不足が確認されており、来館者数の多い文化財施設から優先的に耐震化事業を実施するとともに、保存修繕は、優先順位の高い箇所から順次修繕を行っている。

3 時計台保存修理事業

札幌のシンボルである時計台について、将来に継承していくための保存修理工事を計画するとともに、防火対策の強化や魅力アップと更なる集客を図るための整備を検討することを目的に令和5年度から事業化したもの（別添資料6）。

本事業においては、次回の大規模改修工事に向けて、主に以下に挙げた内容について、有識者による保存活用計画検討委員会を設置し意見を伺いながら検討を進めている。

- ・ 内部改修（平成30年度の大規模改修では未実施）
- ・ 外壁塗装劣化部の修繕
- ・ 文化庁の防火対策推進の方針を踏まえた追加の防火対策
- ・ 近年の夏場の気温上昇に対応するための暑さ対策

令和6年7月より保存活用計画策定業務に着手しており、上記検討内容を反映した保存活用計画を2か年かけてまとめる予定で進めている。

4 旧札幌控訴院庁舎（札幌市資料館）保存修理事業

当該事業は、旧札幌控訴院庁舎（札幌市資料館）が令和2年12月に国の重要文化財に指定されたことを受け、より文化財的価値を高める公開活用を行うことを目的として、令和5年度から事業化したもの。本事業では、従前計画を見直し、その価値に配慮した耐震補強・保存修理・機能向上について改修内容の検討を進めている。

昨年度までの2年間は、有識者による耐震・保存活用計画検討委員会からの助言のもと、耐震補強方針及び保存活用計画の策定に向けて検討を進めてきた。その結果、当庁舎の札幌軟石と煉瓦を組み合わせた特殊な外壁は、全国的にも耐震補強実績が乏しいことが課題として明らかになっている。

そのため今年度は、これまで検討した耐震補強方針がこの外壁に対しても有効に作用するか、追加で検討を進める。併せて、バリアフリー化や防災機能の向上など、施設に必要な設備を整備するための手法について検討を進める。

指定文化財一覧表

種類	名称	所在地・電話	所有者	指定年月日	摘要
国指定	重要文化財 八窓庵 (旧舍那院忘筌)	中央区中島公園1番 531-0029	札幌市	昭25.8.29	江戸初期の茶人小堀遠州(1579~1647年)の晩年の作と伝えられる草庵風の茶室。
	〃 豊平館	中央区中島公園1番20号 211-1951	札幌市	昭39.5.26	明治13年に開拓使が建てた洋風建築物で、明治初期のホテル建築の貴重な遺構。
	〃 北海道庁旧本庁舎 (赤れんが庁舎)	中央区北2・3条西5・6丁目 231-4111	北海道	昭44.3.12	明治21年に建てられた米国風ネオ・バロック様式の官庁建築物。
	〃 北海道大学農学部 (旧東北帝国大学農科大学) 第2農場	北区北18・19条西7・8丁目 北海道大学構内 716-2111	国立大学法人 北海道大学	昭44.8.19	明治42年から本道酪農の模範農場として造られた。耕馬舎、穀物庫等全9棟。
	〃 旧札幌農学校演武場 (時計台)	中央区北1条西2丁目 231-0838	札幌市	昭45.6.17	米国中西部建築様式の影響を受けた実用的な建物で、明治11年に開拓使が建築。
	〃 北海道大学農学部 植物園・博物館	中央区北3条西8丁目 北海道大学植物園内 221-0066	国立大学法人 北海道大学	平1.5.19	明治15年建築の博物館本館 同33年建築の博物館事務所 同17年建築の博物館倉庫 同44年建築の植物園門衛所など
	〃 旧開拓使工業局庁舎	厚別区厚別町小野幌 (北海道開拓の村内)	北海道	平25.8.7	明治10年に札幌市街中心部に建設され、昭和54年に北海道開拓の村に創建時の姿で移築された。明治初期の北海道開拓を支えた開拓使工業局の工作場の現存唯一の遺構
	〃 旧札幌控訴院庁舎	中央区大通西13丁目4番地 194 251-0731	札幌市	令2.12.23	大正15年に建てられた札幌軟石を使用した建物。多彩な石加工技術を見ることができる。
	〃 太刀銘国俊	—	個人所有	昭8.1.23	山城国栗田口の刀鍛冶、国俊作の大刀。刃文は甘美ではないが鍛えが優れており、古来名刀として名高い。
	〃 刀無銘伝来国行	—	個人所有	昭31.6.28	その作風と優れた技量からみて来派の作と鑑定されるもので、国行の作と見られる健全な名刀。
	〃 カラフトナヨロ惣乙名文書 (ヤエンコロアイヌ文書)	北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館 706-2994	国立大学法人 北海道大学	令1.7.23	カラフト西岸ナヨロの惣乙名(複数村落の統括者)をつとめたアイヌの氏族長の家に保管、伝來した文書群。
	重要有形民俗文化財 アイヌのまるきぶね	中央区北3条西8丁目 北海道大学植物園 北方民族資料室内 221-0066	国立大学法人 北海道大学	昭32.6.3	シイク・トヨタリケ氏によって、大正末期に製作。
	重要無形民俗文化財 アイヌ古式舞踊	南区小金湯27 札幌市アイヌ文化交流センター(保護団体事務局) 596-1610	札幌ウボボ保存会	平6.12.21 (保護団体指定)	アイヌの人々に伝承されている芸能。
	史跡 開拓使札幌本庁舎跡 旧北海道庁本庁舎	中央区北2・3条西5・6丁目 231-4111	北海道	昭42.12.15	明治6年10月に建築された開拓使札幌本庁舎跡。
	〃 琴似屯田兵村兵屋跡	西区琴似2条5丁目 621-1988	札幌市	昭57.5.7	明治7年に建設された北海道最初の屯田兵村の兵屋跡で兵屋番号133番。
	天然記念物 円山原始林	円山 563-6111(石狩森林管理署)	林野庁	大10.3.3	海拔226mの山で390種の植物分布がみられる。
	〃 薦岩原始林	薦岩 563-6111(石狩森林管理署)	林野庁	大10.3.3	414種の冷温帯の豊富な植物分布がある。海拔531m。

種類	名称	所在地・電話	所有者	指定年月日	摘要
道指定	有形文化財 琴似屯田兵屋	西区琴似1条7丁目 琴似神社境内 621-5544	琴似神社 (管理琴似屯田保存会)	昭39.10.3	明治8年に入植した北海道最初の屯田兵村の兵屋の1棟で、兵屋番号140番の遺構。
	〃 札幌市 K-446 遺跡出土の遺物	中央区南22条西13丁目 札幌市埋蔵文化財センター 512-5430	札幌市	昭55.8.12	縄文時代の土器、土製支脚、紡錘車の合計17個。
	〃 旧永山武四郎邸	中央区北2条東6丁目2番地 232-0450	札幌市	昭62.11.27	第2代北海道庁長官永山武四郎の邸宅で、明治10年代に建築された和洋折衷の住宅。
	〃 新琴似屯田村記録	北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館 706-3956	国立大学法人 北海道大学	平28.3.31	北区新琴似地区に入植した屯田兵の明治中期～昭和初期の自治活動に関する記録。
市指定	有形文化財 清華亭	北区北7条西7丁目 746-1088	札幌市	昭36.6.7	札幌最初の公園「偕楽園」に明治13年貴賓接待所として建築。
	〃 新琴似屯田兵中隊本部	北区新琴似8条3丁目 765-3048 (現地管理人) 761-4205 (新琴似まちづくりセンター)	札幌市	昭49.4.20	明治19年に新琴似屯田兵村の本部として建築されたもので、過番所(中隊本部)としては札幌に残る唯一のもの。
	〃 旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋)	南区簾舞1条2丁目 596-2825	札幌市	昭59.3.28	明治5年に有珠新道の交通の要所となるミゾマップ(簾舞)に建築されたもので、札幌における通行屋の唯一の遺構。
	〃 木造日蓮聖人坐像	中央区南11条西9丁目 豊草山妙心寺 511-7634	豊草山妙心寺	昭56.7.21	彩色寄木造りで、僧日住が厄除けのため寛文6年(1666年)に造立させたもの。
	〃 旧琴似川流域の堅穴住居跡分布図	中央区南22条西13丁目 札幌市埋蔵文化財センター 512-5430	札幌市	平16.8.25	明治27・28年頃高畠宜一氏により作成された、市内都心部から北区麻生町付近までの縄文時代(約1300年～800年前)の堅穴住居跡の縄みを約720カ所記録した分布図。
	〃 札幌市N30遺跡出土品	中央区南22条西13丁目 札幌市埋蔵文化財センター 512-5430	札幌市	平16.8.25	平成7・8年に、西区二十四軒4条1丁目で発掘調査した縄文時代後期から晩期(約3700～2300年前)の出土品(1,413点)。縄文時代晩期末の墓からは、土偶やサメの歯も出土。
	〃 札幌独立キリスト教会文書	中央区大通西22丁目 札幌独立キリスト教会 641-3522	札幌独立キリスト教会	平28.7.28	クラーク博士起草の「イエスを信ずる者の契約」等、明治初期の文書計7点。
	無形文化財 丘珠獅子舞	東区丘珠(保持団体住所)	丘珠獅子舞保存会	昭49.10.25	明治25年に富山県からの移住者によって伝えられ、伝承してきた獅子舞。
	史跡 手稲山口バッタ塚	手稲区手稲山口324-308	札幌市	昭53.8.21	明治16年にトノサマバッタの大群を駆除するために、大量の卵のうを埋めた歎状の塚跡。
有形文化財 及び史跡	札幌村・大友亀太郎関係 歴史資料及び史跡	東区北13条東16丁目 札幌村郷土記念館 782-2294	札幌市	昭62.2.20	慶応2年(1866年)、札幌村は大友亀太郎によって開拓が進められ、その後、玉葱栽培の先進地として発展した。これらの歴史資料及び役宅跡。

令和7年4月1日現在

登録文化財一覧表

種類	名称	所在地・電話	所有者	登録年月日	摘要
国登録	有形文化財 北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	北）北9条西7丁目北海道大学構内716-2111	国立大学法人 北海道大学	平9. 9. 3	明治42年に建てられた、フランス・ルネサンス風の木造建築物。
	〃 北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	中）南4条西17丁目 891-2731	北星学園	平10. 9. 2	大正15年、スイス人建築家ヒンデルが実施設計し建てた洋風建築。
	〃 日本基督教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	中）北1条東1丁目 221-2444	札幌教会	平10. 9. 2	明治37年に建てられた、ロマネスク風の教会建築。
	〃 北海道知事公館（旧三井クラブ）	中）北1条西16丁目 611-4221	北海道	平11. 10. 14	昭和11年に三井家札幌別邸新館として建てられた、ハーフティンバーの洋館。
	〃 杉野目家住宅	中）南19条西11丁目	個人所有	平11. 10. 14	昭和8年に建てられた、チューダー様式による集中暖房住宅。
	〃 北海道大学農学部博物館バーチェラー記念館	中）北3条西9丁目北海道大学植物園内 221-0066	国立大学法人 北海道大学	平12. 4. 28	明治31年建築のバーチェラー博士の旧宅を移築した、総2階建、全面下見板張の洋館。
	〃 北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）※現 宮部金吾記念館	中）北3条西8丁目 北海道大学植物園内 221-0066	国立大学法人 北海道大学	平12. 4. 28	明治34年建築、昭和17年に建物の一部を移築したもの。木造2階建。
	〃 北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	北）北9条西8丁目北海道大学構内（問合せ）北大交流プラザ「エルムの森」706-4680	国立大学法人 北海道大学	平12. 4. 28	明治34年に建てられた、I字型平面を持つ木造平屋建の建物。
	〃 北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	北）北9条西8丁目北海道大学構内 716-2111	国立大学法人 北海道大学	平12. 4. 28	明治35年に建築された、T字型平面を持つ木造平屋建の図書館閲覧棟。
	〃 北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	北）北9条西8丁目北海道大学構内 716-2111	国立大学法人 北海道大学	平12. 4. 28	明治35年に建築された、煉瓦造2階建、切妻造りの倉庫建築。
	〃 エドワイン・ダン記念館（旧北海道府真駒内種畜場事務所）	南）真駒内泉町1丁目 581-5064	札幌市	平12. 9. 26	明治20年建築。下見板張、寄棟造で、正面中央の玄関及び屋根窓は切妻造。
	〃 旧西岡水源池取水塔	豊）西岡公園内	札幌市	平13. 8. 28	明治42年に建築された水道施設の遺構の一部。
	〃 黒田家住宅（主屋・蔵・表門・石塀）	中）南13条西7丁目	黒田合資会社	平22. 9. 10	大正13～15年に建築された大正末の地域の建築事情を知る上で貴重な住宅。
	〃 沼田家住宅旧第二りんご倉庫	豊）西岡4条10丁目	個人所有	平24. 8. 13	昭和28年建築。整った意匠が特徴の煉瓦造倉庫。
	〃 柳田家住宅旧りんご蔵	豊）平岸2条5丁目	個人所有	平24. 8. 13	大正後期に建てられた、草創期の煉瓦造りんご貯蔵庫。煉瓦造2階建で。
	〃 遠藤家住宅（主屋・蔵・南石蔵・北石蔵・表門・塀）	中）南6条西5丁目	個人所有	平26. 10. 7	大正8年頃建築。札幌軟石と煉瓦の塀で囲まれ、洗練された意匠を持つ近代和風建築。
	〃 札幌市旧三菱鉱業寮	中）北2条東6丁目 232-0450	札幌市	令1. 9. 10	三菱鉱業株式会社が昭和12年頃に旧永山武四郎邸に附設する形で福利厚生施設として増築した洋館。
	〃 北海道大学空沼小屋	南）常盤 石狩森林管理署1157イ林小班（問合せ）北海道大学学生支援課706-7546	国立大学法人 北海道大学	令4. 6. 29	昭和3年建築されたスキーヒュッテ。北海道戦前期のログ工法建築の数少ない遺構。
	〃 さっぽろテレビ塔	中）大通西1丁目1他	株式会社さっぽろテレビ塔	令7. 3. 13	日本の構造建築界の重鎮の一人である内藤多仲の一連のタワー作品の一つ。東京タワー、名古屋テレビ塔に次ぐ3番目の高さを誇る。

令和7年4月1日現在

地域文化財一覧表

種類	名称	所在地	所有者	登録年月日	摘要
有形文化財	苗穂小学校学校記念館	東) 北9条東13丁目1-1	札幌市	令6. 3. 28	昭和12年に建設された木造校舎の一部を保存したもの。札幌市街地では唯一の木造2階建て校舎。
"	阿部家住宅	札幌市北区 ※個人宅	個人所有	令6. 3. 28	明治30年に建築されたとされる洋風建築物。和室、大正モダンの特徴を伝える洋間等特徴がある。
"	阿部家関係資料	札幌市北区 ※個人宅内	個人所有	令7. 3. 17	札幌区長に就任した阿部宇之八や、北海道新聞社社長に就任するなどした阿部謙夫といった北海道や札幌の発展に大きな役割を果たした人物ゆかりの品々。
無形民俗文化財	篠路歌舞伎	北) 篠路 ※保持団体所在地	篠路歌舞伎保存会	令6. 3. 28	明治35年に烈々布神社春祭りに「篠路烈々布素人芝居」として催されたことが起源の民俗芸能。
"	新琴似歌舞伎	北) 新琴似 ※保持団体所在地	新琴似歌舞伎保存伝承会	令6. 3. 28	明治30年頃、地域の若者が集い、日々の厳しい労働から精神的な開放等を求めて発祥した民俗芸能。
記念物	阿部氏庭	札幌市北区 ※個人宅敷地内	個人所有	令6. 3. 28	昭和戦前期の頃からの植生と言われるクリの木などが歴史ある住宅を彩っている。

令和7年4月1日現在

5 文化部所有文化財の管理及び活用状況

令和7年4月1日現在

文化財の名称	管理状況	活用の形態	開館時間 休館日（年末年始休除く）	観覧者数(人)			対前年比% (R6/R5)
				令和4年度 ※1	令和5年度	令和6年度	
旧札幌農学校演武場 (時計台)	指定管理者による 管理運営	一般公開の他、講演会・音 楽会・会議場等として活用	一般公開 8:45～17:10 ホール使用 17:30～21:00 ※年末（12/29～31）開館	239,530 ホール使用 16,902	290,225 ホール使用 16,679	308,666 ホール使用 18,519	106.4 ホール使用 111.0
豊平館	指定管理者による 管理運営	一般公開の他、貸室として 多目的に活用	一般公開 9:00～17:00 貸室使用 9:00～22:00 第2火曜日（祝日の場合は翌日）	28,081	36,743	40,708	110.8
八窓庵 (旧舎那院忘筌)	警備清掃を業者委託	4月下旬～11月初旬まで一 般公開（外観見学のみ）	9:00～17:00 左記期間中無休	5,934	7,215	7,090	98.3
旧札幌控訴院序舎 (札幌市資料館)	指定管理者による 管理運営	一般公開の他、貸室として 多目的に活用	一般公開 9:00～19:00 月曜日（祝日の場合は翌日）	108,327	126,216	132,711	105.1
琴似屯田兵村兵屋跡	警備清掃を業者委託	一般公開（5月～9月に菜園 事業を実施）	9:00～16:00 無休	5,071	5,523	7,447	134.8
札幌市K-446遺跡出土の遺 物	埋蔵文化財センター で保管・管理	埋蔵文化財センター展示室 で一般公開（不定期）	8:45～17:15 祝日（5/3～5、11/3は開館）				
旧永山武四郎邸	指定管理者による 管理運営	一般公開、隣接している旧 三菱鉛業寮は貸室として多 目的に活用	一般公開 9:00～22:00 第2水曜日（祝日の場合は翌日）	46,156	47,551	40,959	86.1
清華亭	警備清掃を業者委託	一般公開	9:00～17:00 無休	5,616	535 ※1	10,419	1,947.5
新琴似屯田兵中隊本部	警備清掃を地元の保 存会に委託	屯田兵資料を展示し、一般 公開（4月～11月）	10:00～16:00 火・木・土曜日のみ開館 12～3月は閉館	2,810	2,891	3,008	104.0
旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋)	管理運営を地元の保 存会に委託	札幌の通行屋の唯一の遺構 を一般公開	9:00～16:00 月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日	1,001	1,120	1,291	115.3
旧琴似川流域の豊穴住居跡 分布図	埋蔵文化財センター に展示	埋蔵文化財センター展示室 にレプリカを展示し、一般 公開	8:45～17:15 祝日（5/3～5、11/3は開館）				
札幌市N30遺跡出土品	埋蔵文化財センター に展示	埋蔵文化財センター展示室 に出土品の一部を展示し、 一般公開	8:45～17:15 祝日（5/3～5、11/3は開館）				
手稻山口バッタ塚	職員による定期的な 巡回警備	一般公開	8:00～17:00 山口緑地の公開 時間に同じ（冬季閉鎖）				
札幌村・大友亀太郎関係 歴史資料及び史跡	札幌村郷土記念館に 保管し、管理を地元保 存会に委託	札幌村郷土記念館に展示し て一般公開	10:00～16:00 月曜日（祝日の場合は翌日も） 祝日の翌日	1,952	1,956	1,541	78.8
合計				444,478 ホール 16,902	519,975 ホール 16,679	553,840 ホール 18,519	106.5 ホール 111.0

※1 令和5年5月1日から令和6年4月21日まで、耐震保全改修工事のため休館。

10 札幌市内郷土資料館等一覧

令和7年4月1日現在

	名称	所在地 連絡先	休館日等 開館時間	敷地 所有(所管)	建物 所有(所管)	設置年月日	管理状況	収蔵数	令和6年度 入館者
1	手稻記念館	西区西町南21丁目 661-1017	火・木・日・祝・年末年始 9:00~17:00 (展示室)	2,598 m ² 文化部	鉄筋コン造1階建 (一部木造) 690 m ² 文化部	昭和44年12月	札幌市(文化部) 展示室:手稻記念館管理運営委員会委託 会議室・講堂:同委員会へ貸付	1,126点	623人
2	札幌村郷土記念館	東区北13条東16丁目 782-2294	月(祝日の場合は翌日も休館)・ 祝日の翌日・年末年始(12月29日 ~翌年の1月5日) 10:00~16:00	553 m ² 文化部	鉄骨造2階建 266 m ² 文化部	昭和52年4月	札幌村郷土記念館保存会 館長1名(市指定文化財の管理 について委託している。)	2,761点	1,541人
3	つきさっぷ郷土資料館	豊平区月寒東2条2丁目 854-6430	4~11月の水・土のみ開館 10:00~16:00	423 m ² 文化部	レンガ造2階建 (一部木造) 359 m ² 文化部	昭和60年6月	月寒地区町内会連合会 当番 数名	約4,000点	1,605人
4	簾舞郷土資料館	南区簾舞1条2丁目 旧黒岩家住宅内 596-2825	月(祝日の場合は翌日)・祝日の 翌日・年末年始 9:00~16:00	600 m ² 文化部	木造1階建の一部 99 m ² 文化部	昭和61年4月	旧黒岩家住宅保存会 当番1名	1,024点	1,291人
5	新琴似屯田兵中隊本部	北区新琴似8条3丁目 新琴似屯田兵中隊本部内 765-3048	4~11月の火・木・土のみ開館 10:00~16:00	新琴似神社	木造1階建 197 m ² 文化部	昭和49年4月	新琴似屯田兵中隊本部保存会 当番1名	243点	3,008人
6	あしりべつ郷土館	清田区清田1条2丁目 清田区民センター内 885-0869	水・土のみ開館 10:00~16:00	6,001.73 m ² 清田区	鉄筋コン造2階建の 一部 258.68 m ² 清田区	昭和58年5月	あしりべつ郷土館運営委員会 当番1名	1,800点	1,489人
7	屯田郷土資料館	北区屯田5条6丁目 屯田地区センター内 772-1811	月・年末年始 13:00~16:00	3,088 m ² 北区	鉄筋コン造2階建の 一部 396 m ² 文化部	昭和63年11月	屯田郷土資料館運営委員会 当番1名	1,328点	1,607人
8	福住開拓記念館	豊平区福住1条4丁目 福住まちづくりセンター併設	土・日・祝(9月15日を除く)・ 年末年始 9:00~17:00	551 m ² 地域振興部	木造2階建の一部 120 m ² 文化部	昭和53年9月	福住三六会 まちづくりセンター職員が兼任	833点	— (カウント無)
9	平岸郷土史料館	豊平区平岸3条9丁目 812-2493	日・祝・年末年始 8:45~18:00	子ども育成部	鉄筋コン造1階建の 一部 168 m ² 子ども育成部	昭和57年9月	児童会館 児童会館職員が兼任	435点	132人
10	篠路烈々布郷土資料館	北区百合が原11丁目 757-2407	開館日は電話にて要確認	870 m ² 地域振興部	木造2階建(町内会 館)の一部 34 m ² 烈々布町内会	昭和57年11月	烈々布会 烈々布会館管理人が兼任	333点	— (カウント無)
11	定山渓郷土博物館	南区定山渓温泉東4丁目 定山渓小学校内 598-2012	11月~4月 9:00~16:00	小学校敷地内 教育委員会	木造平屋建 展示面積 140 m ²	昭和57年5月 平成18年4月 リニューアル開館	定山渓観光協会(カードキー貸出) 博物館運営委員会(地元有志)	約1,000点	84人
12	琴似屯田歴史館資料室	西区琴似2条7丁目 西区役所分庁舎2階 614-8245	水のみ開館 (祝日を除く) 10:00~16:00	594.04 m ² 西区	鉄筋コン造2階建の 一部 82.23 m ² 西区	平成7年4月	NPO法人札幌郷土文化推進センター 当番1名	約2,000点	475人
13	白石郷土館	白石区南郷通1丁目南 白石区複合庁舎内 861-2405(区総務企画課)	土・日・祝・年末年始 (第2土・日曜は開館) 8:45~17:15	4251.31 m ² 白石区	鉄筋コン造地下2階地 上7階建の一部 75 m ² 白石区	平成28年11月	白石ふるさと会 管理人の常駐なし	約70点	— (カウント無)

